

感動アラスカ・オーロラ鑑賞7日間の旅

2013・1・31～2・6 RSK OB 高谷 昇 (NOBORU TAKAYA)

一生に一度は見てみたい、オーロラ・・・思い切ってアラスカまで旅しました。

2012年～2013年はオーロラの当たり年だということなので、もしかしたら見れるかもと出かけました。オーロラの発生に大きく関係すると言われる、太陽の黒点活動は11年周期で活発になり、最盛期となる2012年～2013年はオーロラ鑑賞に適した時期と言われています。

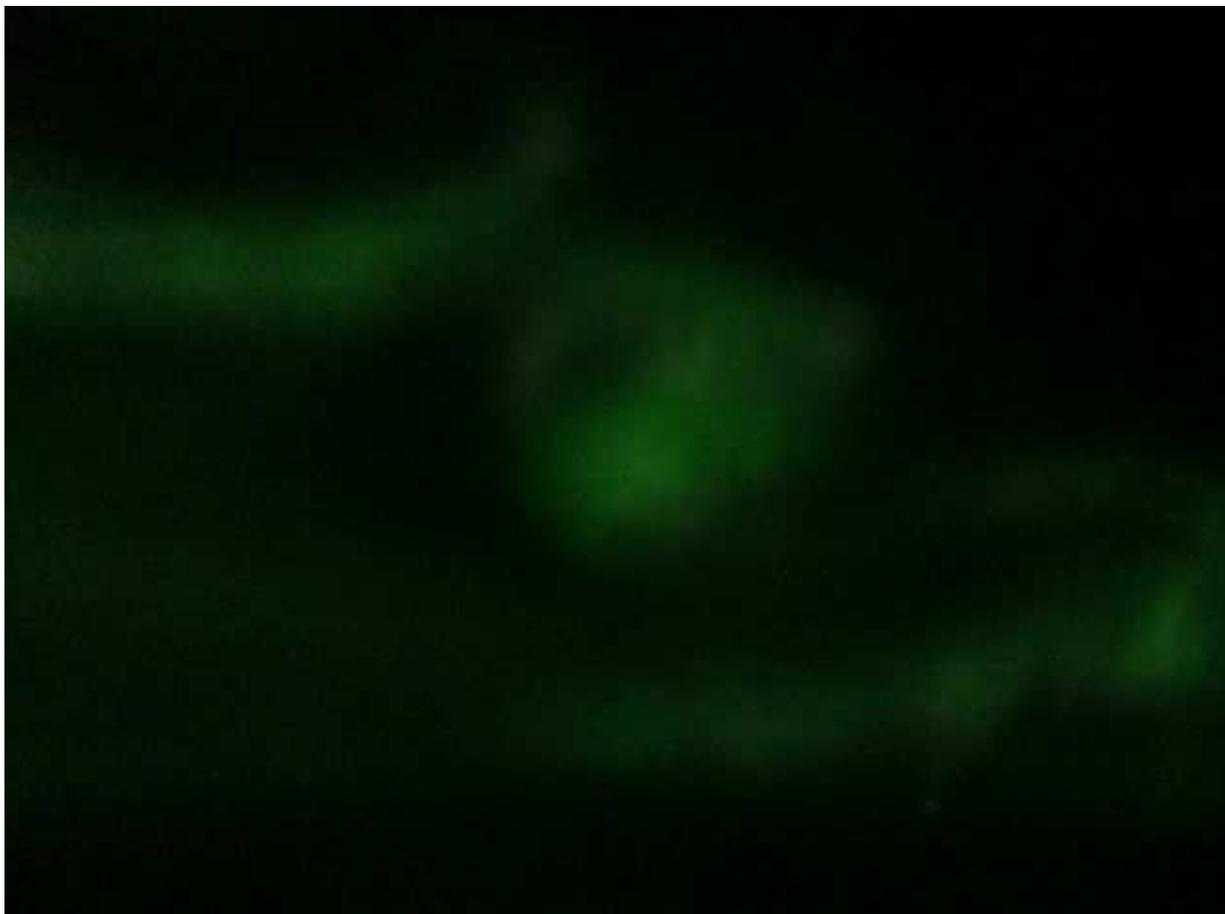
天空で演じられる神秘の舞オーロラとは・・・

オーロラは太陽から飛んでくる電気を帯びた粒子が、地球の磁力に吸い寄せられて大気と激しく衝突し、そのエネルギーが光となったもの。オーロラの鮮やかな色彩は、この粒子がどのような種類の気体とぶつかるかにより決まる。酸素原子と衝突すると白っぽいグリーンや赤となる。窒素分子とぶつかればブルーというように色が変わってくる。

夜は4日間に渡って22時～2時まで極寒の地でオーロラを見るため頑張りました。薄い筋のようなグリーンが雲の間から、目を皿のようにすると何回か見れたが、残念な夜が続きました。3日目です。

「出たー！」と言う大きな声が出て、マイナス20℃の外に飛び出しました。すると天空一面にオーロラが出ていました。グリーン、ブルー、レッド、オレンジ、色鮮やかに一面に渦を巻いていました。この世のものとは思えない、夢、空想のようなロマンチックな世界でした。遂に見ました。

一生に一度は見てみたい、オーロラでした。





第1日目・・・1月31日

1 8時15分関西国際空港発→デルタ航空でシアトルへ

飛行時間9時間40分 機内食2回

——日付変更線 通過——

10時55分 シアトル/タコマ着

13時10分 シアトル/タコマ発 アラスカ航空でアラスカ州フェアバンクスへ

飛行時間 3時間51分

→16時45分 ホテル到着・・オーロラについて説明会

22時バスでホテル出発→ロッジでオーロラ鑑賞～午前2時まで

ロッジの中は暖房しているので、寒くはない。一面雪が積もっているが、さらさらの雪で北陸のような湿った雪とは全然違う。外はマイナス18℃、エスキモーの人が着ているようなすごい防寒着を貸してくれ全員が着ていた。時々外に出てオーロラが出るのを見上げていた。見張りをする添乗員やガイドがいて、出てきそうな空になったら、ロッジの中に声がかかる。今日は曇も出ているし、星もあまり見えないので空振りのようである。

2時ごろバスでホテルに帰り睡眠をとった。

第2日目・・2月1日

アラスカ州フェアバンクスはマイナス18℃ と極寒の地である。



今年の最低気温はマイナス45℃



13時00分 ホテルのロビー集合

アラスカ大学博物館—動物や野鳥、原住民の生活など見学



アラスカ州フェアバンクス市内観光

アラスカ大学 周辺一気温はマイナス16℃





アラスカパイプライン・・・日本の企業が製造、施行したもの。



北海から原油のパイプライン



アラスカはソ連が貧しかったころ、アメリカが760万ドルで購入したという。買った上院議員は当時極寒の雪だらけの土地を税金で買って、どうすんだと、ぼろくそだったようですが、原油がどんどん出てくると知ると英雄になったとのこと。いまではアラスカ州は全米でも3本の指にはいるような裕福な州である。住民税は無料、消費税もなし、・・そして住民1人当たり1年間に900ドルぐらいキャッシュバックがあるそうだ。4人家族だと3600ドル?大きいよ・・教育費などに充てていると言っていた。

22時ホテル出発～オーロラ鑑賞にロッジへ 2時ごろまで、時々外に出てオーロラを呼んでみた。この夜も星は見えたが、細い筋のような、よく見るとグリーンがかっているようなものしか見えません。残念、外はマイナス20℃ 寒い、痛いぐらい。

ここの歴史上の最低気温はマイナス61℃ だったという。
今年の最低気温はマイナス45℃ だったという。

2時ごろホテルに帰る・・風呂に入り3時ごろ寝る

第3日目・・2月2日

13時ホテルのロビー集合で、犬ぞり ツアーに出かける
10頭のアラスカ犬が2人の人間をソリに乗せて、雪の原野、林の中を走るのである。
寒さも忘れて楽しめた。気持ちよい 犬ぞり であった。











マイナス20℃ ぐらいだとアラスカ犬は平気で外で遊んでいる。マイナス30℃以上になるとちじこまって動かなくなるそうです。日本の冬服で行ったが、そんなものでは耐えられない。エスキモーが着るようなジャンパー、ズボンの上にズボンをはいて、靴も防寒靴でないと足の感触がなくなる。アラスカ犬は強いな！ 南極でも活躍したが、なるほどと思った。

22時ホテル出発オーロラ鑑賞へロッジに向かう～2時まで

0時ごろ大きな声で「出たー・・・」「出たー・・・」みんなすっ飛んで外に出た。天空はこの世のものとは思えない、鮮やかなオーロラが空一面に渦巻いていた。グリーン、ブルー、オレンジ、レッド、虹のようにはっきりとは見れないが、ぼんやりしているのが、いいものだ。綺麗だった。



長い時は30分とか見れるそうですが、我々が見た空一面のオーロラは15秒~1分くらいだった。それでも見る事が出来ないツアーがほとんどだそう。4、5日間滞在してもなかなかオーロラを見るのは至難の業のようです。本当にラッキーとしか言いようがない。





午前2時ごろ、みんな眠いのも忘れて、興奮しながらホテルへ帰った。

フェイスブックで日本の仲間にオーロラを見たよと、送信した。仲間から「すごい・・・」

「よかったね・・・」という メールがフェイスブック返信があった。遙か彼方のアメリカはアラスカ州のフェアバンクスから日本の仲間とリアルタイムで感動のやり取りが出来るなんて夢物語であった。技術、IT、の進歩には驚くばかりである。3時半ごろ興奮冷めやらぬ中就寝した。

第4日目・・・2月3日

11時にホテルロビーに集合して、セスナによる「マッキンレー遊覧飛行」に出かけた。10人乗りのセスナ機に乗り込んだ。振動も思ったよりなかった。騒音はヘッドホンをかけると気にはならなかった。北米最高峰のマッキンレーは日本の著名な冒険家植村直己さんが行方不明になった山である。永久凍土の山なので、植村直己さんもどこかに存在していると思う。上空からみんなで捜したが、残念ながら見つからなかった。









- 1・モルドリュウ氷河・北側の登山ルート入口に近づく
- 2・トラレイカ氷河
- 3・シルバートローン山（銀の冠山）
- 4・南壁、マッキンリー山・南側の登山ルート
- 5・西壁、マッキンリー山・一般的によくつかわれる登山ルート
- 6・マッキンリー山・6191m、北アメリカ大陸最高峰
「デナリ」とも呼ばれている “偉大な者” という意味
- 7・ワンダー湖 とカンティシユナ デナリ国立公園道路の最終地点
- 8・パークス幹線道路とアラスカ鉄道・アンカレッジとフェアバンクス間576kmを結ぶ
- 9・クリア空軍所・長距離レーダー警報器

などをセスナ機で上空から見物して廻った。爽快な遊覧飛行であった。



アラスカの車の前のバンパーの所に電気コードが出ている。全ての車に出ている。スーパーなどで駐車する時、電気コードを差し込んで、バッテリーとエンジンオイルを温めるのである。マイナス20℃だと駐車すると再びエンジンがかからない。今年の最低温度はマイナス45℃だったとのこと。史上最低温度はマイナス65℃だったとのこと。



夕食は日本料理「寿司店」であった。海鮮ずし、味噌汁が美味しすぎて、日本料理は世界一だと改めて感じた。



寿司店に飾ってあった「ひょっここ 面」



ホテルに帰り 22時～ロッジへオーロラ鑑賞に出かけた。今晚がオーロラ鑑賞の最後なので再び綺麗なオーロラを期待したが、曇りで残念ながら見れなかった。薄いものは多少見る事が出来たが、素晴らしいオーロラを既に見ているので、物足りない。2時ごろホテルに帰り 3時半ごろ就寝した。

第5日目・・・2月4日

11時ごろホテルロビーに集合し、温泉に入りに行った。

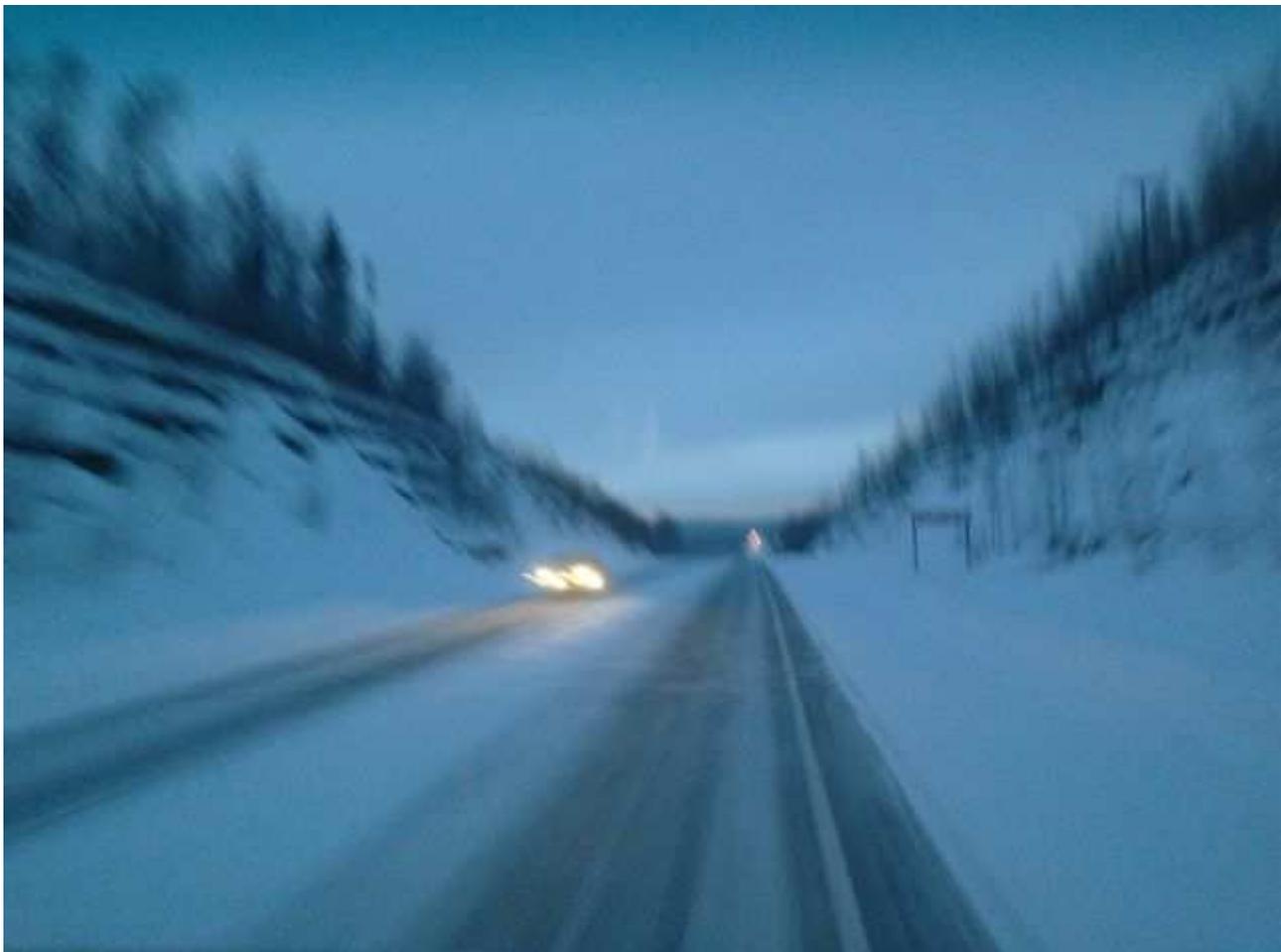
チェナ温泉日帰りツアーである。ホテルから四輪駆動の車で1時間半ぐらい走った。日本のようにチェーンをかけている車は1台もない。よくハイウェイを100kmものスピードで運転するものだと感心する。大型のバスやトラックとすれ違くと、雪煙りが舞い上がり、全く前が見えなくなる。助手席に座った時は、命がいくらあっても、もたないようだった。怖い 怖い 背筋が寒くなった。外はマイナス18℃である。チェナ温泉は日本の温泉と同じである。硫黄温泉だった。室内温水プールや露天風呂があり気持ちよかった。大きな露天風呂の周囲の木々に雪と氷が張り付いて、いろんな動物のように見え、自然が造った氷の彫刻である。芸術的な雰囲気の中、ゆっくりと温泉につきり、各国の人々と裸の付き合いをした。







雪のハイウェイを 100 k m で走る四輪駆動車の中から撮影・・・ボケまくり



雪のハイウェイを 100 k m で走る四輪駆動車の中から撮影・・・ボケまくり



アラスカのハイウェイを四輪駆動の車で 100km ぐらいで走るので怖い・・・
バスやトラックなど大型自動車とすれ違くと雪吹雪で前が見えない。真っ白で怖い・・・
22時30分頃ホテルを出発し空港へ

第6日目・・・2月5日

1時30分 フェアバンクス発→空路、シアトルへ
飛行時間 3時間35分 機内食1回
6時5分 シアトル/タコマ空港着

シアトル/タコマ空港のコーヒーショップでほっと一息・・・



1 1時45分 シアトル/タコマ発→乗り継ぎ 空路 帰国の途へ
飛行時間11時間45分 機内食2回

第7日目・・・2月6日

16時30分 関西国際空港着ーリムジンバスにて→岡山へ







有難うございました。アラスカ州フェアバンクスオーロラ鑑賞でした。

RSK OB 高谷 昇 NOBORU TAKAYA 2013・2・15